

日 時：2003年8月29日（金） 16:00～17:45

場 所：九州大学工学部建築学科4階会議室

出席者：両角、梶原、堤、橋本、梶田、松永、中村、有馬、黒瀬

#### 議題1：支部長報告

- ・前回以来、本部の会議は開催されていない。次回の本部の会議は9月11日の予定である（両角）

#### 議題2：事務局報告

##### (1)支部ニュースについて

- ・支部ニュース、第29号は佐賀大学の三島先生と後藤先生の下稿を中心に編集し発行した。予定よりやや遅れてしまったが次回からは早めに発行したい。318部郵送し本部にも1部、郵送した。他に九州大学関係者には学内便で送付した（有馬）
- ・第30号は、長崎総合科学大学の村田先生にお願いしている。執筆者が佐世保市都市計画課の田崎氏に決まり、10月中旬脱稿、10月下旬発行の予定である（有馬）
- ・第31号（堤先生）、第32号（吉武先生）についても再度、確認する必要があるれば、幹事長から連絡する。第31号については堤先生なのでよろしくお願ひしたい。原稿の締め切りは来年の1月である（黒瀬）

##### (2)支部ホームページについて

- ・熊本大学の柿本先生（HP担当幹事）からメールが幹事長あてに届き、学会九州支部の規定集、会員名簿などの送付要請があった。事務局で作成し本人に送付するようにしていたが、誤って幹事長あてにしてしまい、最近、柿本先生に送付した（有馬）
- ・今月中にHPが閲覧できるようになると聞いている（両角）
- ・関連リンク集についてはまだできていない。リンク先の候補としては、本部、関連学会、大学、行政、会員がある。また、キーワード毎のリンクも考えられる（有馬）
- ・キーワードは大変なので、本部、関連学会、大学、行政、協賛会員くらいまでリンクするとして、会員については支部ニュース（第30号）で自由応募してもらうことでどうか（黒瀬）
- ・関連リンクを張る場合には先方の許可をとる必要がある（両角）
- ・関連リンクについては許可をとりながら順次整備し、支部ニュースでも募集する（黒瀬）
- ・リンクページの内容企画、掲載手続き、先方の了解取り付交渉は本間先生に担当していただければどうか（両角）

##### (3)研究会助成金について

- ・8月25日付けで各研究会に助成金を振り込んだ（有馬）

#### 議題3：来年度の企画について

- ・前回の議論でシンポジウムをやってはどうかという話を踏まえて、企画幹事の日高先生と幹事長から資料が出ている（黒瀬）
- ・日高先生の資料によれば、テーマ、位置付け・ねらい、形式、場所などの検討が必要である。テーマとしては「参加型まちづくり」、「市町村合併」、「九州の将来ビジョン（学術・研究都市、特区構想）」などがある。また、平成11年度以降開催された支部関係のシンポジウムのテーマは、「いまとめられる関門のグランド・デザイン」、「アジアにおける都市計画と環境管理」、「地方分権の時代の都市像と都市計画」、「連携による中心市街地活性化の実現」、「都心パブリックスペースの再生」、「防災セミナー」、「都市における快適な歩行空間とは」、「都市計画の新しい潮流 - 地方都市の再生と自然・田園との共生」である。研究会主体のものが多い（黒瀬）
- ・幹事長資料では、「九州のビジョンと特区構想」というテーマに絞って資料を集めてみた。九州のビジョンというテーマでは九州地方整備局が継続的にまとめている。樗木先生や吉田先生が関わっている。特区構想については第2回までの認定が県別に発表されている。福岡県、熊本県に集中して認定がなされている（黒瀬）
- ・日高先生の資料では企画の位置付けや形式について検討項目を挙げて居られる。前回の議論でシンポジウムが話題になったが、これまで実施したシンポジウムにも色々な規模形式があり、日高先生の形式区分で

は講演会やワークショップに相当ものを含んでいる。学会の社会貢献を念頭に置くにしても、形式は、もう少し議論してみる必要がある（両角）

- ・研究会を主体にやる方法もあると思うが、例えば「審議会の在り方」のテーマではどのように進展しているのか（黒瀬）
- ・これまでに審議会の現状把握のためのアンケートを行っている。専門性のある審議会ということを考えている（梶原）
- ・「公共交通」ではある程度以上の都市の公共交通をテーマに研究を進めている（堤）
- ・テーマの問題もあるが、その前に形式をどうするか考える必要がある。本格的なシンポジウムは学会の研究成果を社会に周知し啓蒙しようというような性格であろう（両角）
- ・大きなシンポジウムは5年に1回程度である。中間的なものとして連続的なセミナーとかでもよいのではないか（中村）
- ・例えば東京でやっている「先端まちづくり塾」の九州版というのも考えられる。その都市でやっているホットなプロジェクトについて現地でセミナーをやるとかも考えられる。支部総会に合わせて開催するのも1つの方法である（両角）
- ・1日で複数の研究会のアカデミックな話をまとめて聞ける、というのも大学外部の会員者からすれば魅力的である（橋本）
- ・経費の面からいくと3つの研究会が来年度に最終年度を迎えシンポを行うことになる。そうすると手元に残る特別企画費は20万円程度になってしまう。3つの研究会のシンポをまとめると80万円位になるので経費的にはまとめた方が有利である（有馬）
- ・結局、セミナーシリーズ的に中間規模のものを複数回行う、研究会活動の発表会を兼ねて1回にまとめて行う、地方都市に出かけてその話題を討論するような小規模なものを行う、の3つの形式が考えられそうである。今日は形式的な線が、ある程度出たということで議論を終え、次回、さらにテーマ、日時、会場等について話合っていきたい。企画幹事（日高先生、辰巳先生）にはきょうの議論を伝えて次回の準備をお願いする（黒瀬）

#### 議題4．榑木先生のお祝い

- ・研究室では今秋をめぐりにお祝いの会を開く予定にしているが、支部と連携できるのであれば日程、規模、講演、懇親会などについては調整したい（梶田）
- ・懇親会は研究室でやってもらうとして、講演の部分については会員に支部ニュースなどで知らせる必要がある。その場合、福岡市に限らず知らせた方がよい（両角）
- ・支部ニュースは10月下旬予定なので連絡は、日程的に難しい。メールについても会員すべてのものがある訳ではない（有馬）
- ・支部ニュースが無理であれば、各県の幹事や大学、役所の幹事が手分けして連絡してはどうか（黒瀬）
- ・組織を通じて流す、HPに掲載するというのもよいのではないかと（両角）
- ・土日ということで考えれば、11/1,2、8,9、15,16、あたりが日程として候補になる。会場はガーデンパレスあたりが考えられる。講演は支部主催、懇親会は研究室主催ということでよろしいか（梶田）
- ・11月中旬開催なら支部ニュースも間に合う（有馬）
- ・榑木先生から会員にお話をして頂くという意味で講演は支部主催でよいと思う（両角）
- ・講演のテーマは榑木先生にお任せしてよいか。時間は60分程度でよいか（梶田）
- ・テーマは任せてよいと思う。前後の時間はあると思うが、講演の時間はおよそ60分位でよい（黒瀬）
- ・それでは、これで進めて日程等が決まればメールで事務局等にお知らせする（梶田）

#### 議題5．その他

- ・キャンパス研究会では9/20~23の予定で上海交通大学のキャンパス視察を行う。坂井、外井、梶田、黒瀬の研究会メンバーが参加予定である（黒瀬）
- ・博多部のNPO主催で「博多とおりゃんせプロジェクト（社会実験）」が9/26~10/4の予定で行われる。各大学の学生さんと興味のある人に宣伝して欲しい（黒瀬）
- ・次回の幹事会は榑木先生のお祝いと兼ねて日程を決めたい。後日、メールで連絡する（黒瀬）
- ・本部の報告は、次回（9/11予定）分についてはメールで行いたい。次々回の本部会議は11/7なので、幹事会が、それ以降なら報告できる（両角）